

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第269号



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2008年9月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

第90回全国高等学校野球選手権記念大会

東東京大会 準優勝



3年生の選手とマネージャー



閉会式

決勝までの経過

1回戦(7月6日)	本校 10 — 2 都城東 (7回コールド)
2回戦(7月12日)	本校 10 — 0 都大島海洋国際 (5回コールド)
3回戦(7月15日)	本校 29 — 0 都深沢 (5回コールド)
4回戦(7月18日)	本校 9 — 8 成立学園 (延長11回)
5回戦(7月20日)	本校 6 — 2 青山学院
準々決勝(7月23日)	本校 4 — 3 岩倉 (延長10回)
準決勝(7月25日)	本校 5 — 4 国士館
決勝(7月27日)	本校 5 — 11 関東一

今年の全国高等学校野球選手権大会は第90回の記念大会である。本校の野球部もこの大会に向けて、さいたま総合グラウンドの専用野球場等で練習を積み重ね試合に臨んだ。野球部員は選手94名と女子マネージャー4名である。

東東京大会は公私立144校の参加校があり、本校は決勝戦まで勝ち残った。初優勝に向けて健闘したが、惜しくも準優勝に終わった。

今大会の本校は、高橋政貴主将と、延長戦2回を含む6試合で完投した高橋雄輝投手を中心とするチームで、試合のたびに成果を上げていった。

毎回、吹奏楽部、ダンス部や多くの部活動生徒、後援会、部活動後援会、高輪会(同窓会)、卒業生、教職員等数多くの皆様の応援をいただき感謝したい。準決勝、決勝では本校始まって以来の全校応援ができ、学校が一体となって盛り上がりを見せた。

高校野球部 東東京大会準優勝

「驚き」

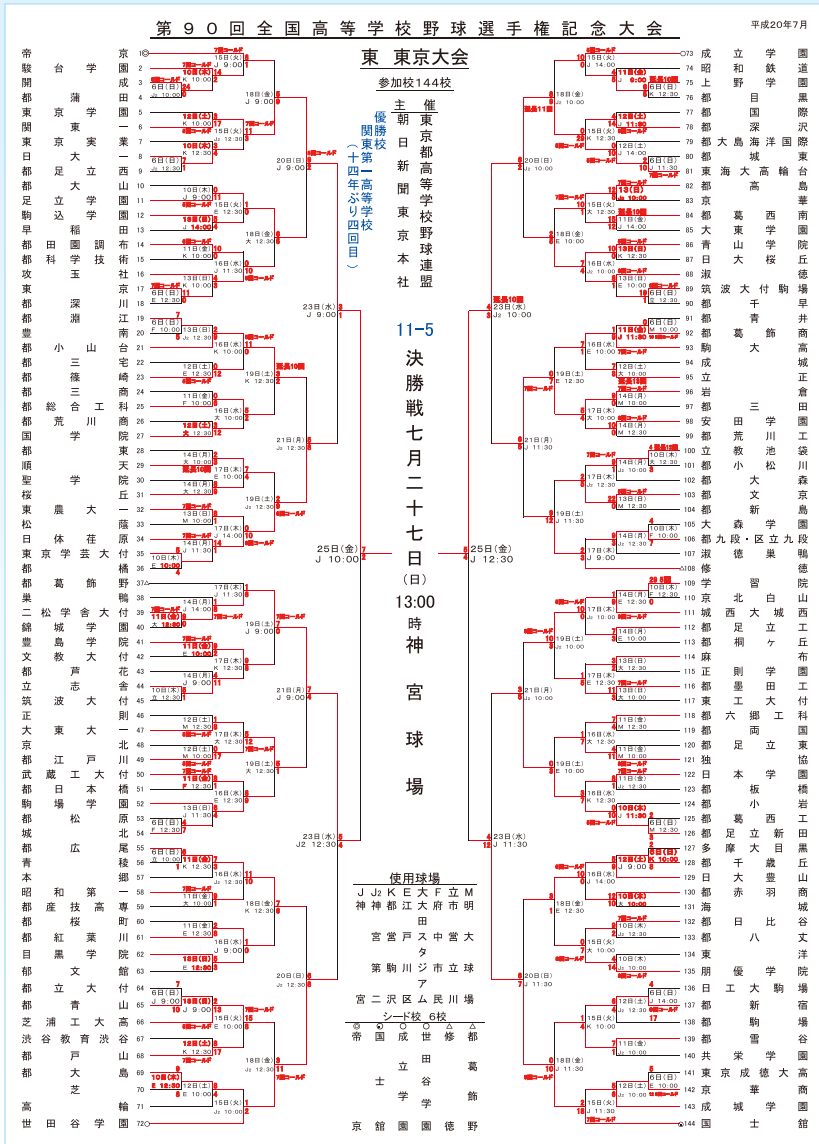
野球部監督 宮島 孝一

早稲田ラグビー復活の立役者となった清宮前監督の本で「自分のミーティングの話の最中にポロポロ涙が出てしまうことがある」という一節を読んだことがある。少なくともそこまで試合に臨むにあたって感情的になった記憶はなかった。本校野球部創部以来の決勝進出。この夏の選手、チームの成長は「驚き」としか表現できない。そうでなければ勝てないとは分かっていたが、3週間8試合という期間にここまで成長できるものなのかと戸惑うほどの成長ぶりだった。シード校との対戦以降の5試合は「こんなに諦めない目をしている選手に一試合でも多く戦わせてやりたい」と毎日、選手を勇気づける言葉を探り続けた。何十と用意した言葉からその試合一番の言葉をかけ、選手の真剣な目を見ると毎試合感情が高ぶり、涙が出そうになった。一番冷静に状況判断をしなくてはならないと考える自分と、選手と一緒に気持ちが懸かる自分とを何とかコントロールしながら戦い抜いた3週間だった。決勝で負け、甲子園はあと一

歩のところまで逃しはしたが、誰1人として最後まで諦めた表情を出す者はいなかった。この夏の経験は本当にチーム、そして自分自身の大きな財産になった。

試合後、本当に多くの方から「感動をありがとう」「勇気をもらいました」という内容の言葉をいただいた。しかし、不安な中、大きな勇気をいただいたのはまぎれもなくこちらの方である。学校関係者を始め、吹奏楽部・ダンス部、準決勝・決勝においては全校の生徒、OB・OGの皆さん、保護者の方々…。これほど多くの方に見守られて野球ができる幸せはないと再認識した。本当にありがとうございました。心より感謝致します。

次の甲子園への戦いは翌日から始まっている。すぐにまた挑戦する覚悟はできた。本当に強く^{たくま}逞しい野球部、誰からも愛される野球部を目指し、最後にこの夏以上の感動を皆様にお約束し、日々努力してまいります。今後とも一層のご支援お願い申し上げます。





野球部主将 高橋 政貴

3年6組 上尾市立南中学校出身

今年の夏は皆さんの応援のおかげで、東東京で準優勝をとる事ができました。素晴らしい応援ありがとうございました。また、私達が野球をできる環境を作っていた学校関係者の皆さん、そして私達をいつもかかげて支えてくれていた保護者の皆さんにはとても感謝しています。

私はキャプテンになってから3つの事を目標としていました。東東京で一番のチームにする事。東東京で一番のキャッチャーになる事。東東京で一番のバッターになる事。この目標がもし達成できていたなら甲子園に行けていたはずですが、この目標を達成できなかった事に悔いは残りましたが、決勝戦で負けた事に悔いは残りませんでした。それは野球部全員が夏の予選一試合ずつ全力で挑み個人がもっている全ての力を発揮できたからだと思います。それがもしできていなかったらここまで来られなかったはずですが。監督にはいつも「結果よりもそれまでの過程を大切にしろ。結果は後からついてくるもの」と言われて来ました。チーム全員で取り組んで来た事は間違っていないかった。でもそれは優勝するまでのレベルではなかった。だからこそ次のチームには優勝するレベルの練習をして甲子園に行きたくしたい。これからの野球部を期待しててください。

最後に今まで一緒に野球をしてきた仲間へ感謝したい。「ありがとう」。



野球部 高橋 雄輝

3年1組 横浜市立芹が谷中学校出身

6試合完投の準優勝。正直自分でも驚きです。4月に肩を痛め、約2ヵ月間投げられずチームに迷惑をかけていました。それでも監督やチームメイトに支えられ、大会を目標に必死で練習しました。そして6月中旬に復帰。3イニングだけの投球でしたがとても嬉しかったです。そして「本番では」という思いと、コーチに帽子に書いてもらった「攻心」を胸に刻み迎えた初戦。コールド勝ち。これでチームは波に乗り、接戦をものにし勝ち上がりました。しかし準々決勝以降、熱中症にかかってしまい、点滴でやっと投げられる状態でした。そんな中、笑顔で試合に送り出してくれたチームメイト。苦しいときに声援を送ってくれた全校生徒や先生方。体調面を考えてくれたスタッフ。心配してくれた家族。私にはこの中の1つも欠かせません。素晴らしい人達に恵まれました。甲子園には行きませんが高校野球に悔いはありません。最高の仲間達と過ごした最高の夏でした。



吹奏楽部／ヨーロッパ遠征

吹奏楽部部长
高橋 美穂子

3年1組 足立区立第十一中学校出身

今年3学年揃っての初めての遠征がヨーロッパ遠征でした。145人という大人数、初めて訪れる場所、何をすることも不安と緊張の連続でした。

そんな中、私達はミッドヨーロッパ青少年国際コンクールに出場し、A・C部門共に1位を獲得することができました。その結果によって、初めて不安を吹き払うことができました。

また、ヨーロッパで見るもの聞くもの全てが私達にとって新

鮮でした。今まで写真や映像、教科書の中の世界だったものを目の当たりにし、大きな衝撃を受け、とても刺激になりました。

何もかも分からなかったヨーロッパで、何かある度に、先生方や旅行会社の方々、現地の方、仲間達に助けられて、特に大きな問題もなく9日間を無事に過ごすことができました。

今回のヨーロッパ遠征を受けて、例年では体験することのできなかった経験をする事ができ、それがこれからの活動への自信にもつながりました。

この経験を活かし、さらに良い演奏、活動を目指していきたいと思えます。

ミッドヨーロッパ国際青少年吹奏楽コンクールに参加して

吹奏楽部顧問
畠田 貴生

本校吹奏楽部は、7月7日(月)～13日(日)に、オーストリア・シュラドミンにて行われた、ミッドヨーロッパ国際青少年吹奏楽コンクールに日本代表として参加させて頂きました。シュラドミンはオーストリアでは夏は避暑、冬はスキーで知られる高級リゾート地であり、このコンクールに参加することは、ヨーロッパの吹奏楽団にとっては憧れのひとつとなっています。今回、本校吹奏楽部は145名の部員が参加し、音楽大学レベルであるAカテゴリーに2・3年生が、高校クラスであるCカテゴリーに1年生が出場しました。初めてのヨーロッパでのコンクール、不安もありましたが、3年生がカナダコンサートツアーでの経験を活かし、1・2年生を立派にリードしてくれました。

我々は最終日である13日にA・C共に出場しました。まずは1年生チームです。リハーサルの時にはリラックスした様子でしたが、本番前にはかなり緊張が高まっていました。大丈夫かな、と心配していましたが、本番は素晴らしいスタート。入部してから間もないにもかかわらず、既に高輪サウンドの片鱗をかいま見ることができました。大きなミスもなく無事終了。たくさんの拍手を頂くことができました。2・3年生チームは長いコンク

ールの日程の中で最後の出場。会場には、本番を終えた他の団体の演奏者達も集まり、開演前からものすごい盛り上がりでした。2・3年生は、さすがに経験を豊富に積んでいることもあり、かなりのリラックスムード。当然、演奏もスムーズに進み、最後の一音が鳴り終わると、一瞬の静寂の後にもものすごい拍手、そしてスタンディングオベーションの嵐!! なかなか拍手が鳴りやまず、何度もカーテンコールにこたえさせて頂きました。

いよいよ、成績発表です。結果はA・C共に1位、なおかつ両部門とも10回のコンクールの中で過去最高得点!! 特に、2・3年生チームは大絶賛を頂くことができました。

多くの方の、ご声援のおかげで今回も素晴らしい栄誉を得ることができました。特に、いつもご理解・ご協力頂いている保護者の皆様方には、生徒共々感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



ミスダンスドリル日本大会に出場して

ダンス部部长
崎山 麻依子

3年10組 横浜市立日吉台中学校出身

今回の大会は3年生にとって最後の大会でした。毎日毎日、野球応援のチアや剛健旅行といった色々な行事に追われ、早朝練習で練習時間を確保するなど、本当に大変でした。大会の日が近づくにつれてプレッシャーも大きくなっていき、当日も出番が近づくにつれみんなの口数が減り、笑顔が消えていくのがわかりました。でも、本番はメンバー全員心を一つに、みんな最高の笑顔で最高の演技ができたと思います。演技終了後、もうこのメンバーであの大きな舞台上で踊ることができないと思うと涙が出ました。でも悲しさだけでなく、達成感というのも大きかったです。残念ながら入賞はできませんでしたが、この大会を通じてたくさんの方のことを学ぶことができまし

た。たくさんの方の支えがあったからこそ、この日本大会という大きな舞台に立てたということ、そしてなによりも仲間の大切さを学びました。いつも支えてくれていた顧問の先生、サポートメンバー、保護者の方々、そして応援に来てくださった方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



高輪カップ 開催

卓球 男子バスケットボール 女子バスケットボール

卓球の部 男子

優勝	葛飾区立常盤中学校 Aチーム
準優勝	板橋区立板橋第一中学校
3位	さいたま市立常盤中学校 Aチーム

参加校

板橋区立板橋第一中学校	品川区立鈴ヶ森中学校	さいたま市立常盤中学校
江戸川区立鹿骨中学校	墨田区立錦糸中学校	さいたま市立大宮東中学校
葛飾区立常盤中学校	板橋区立開進第三中学校	私立横浜山手中華学校
私立日野学園	港区高松中学校	東海大学付属高輪台高等学校中等部

卓球の部 女子

優勝	習志野市立習志野第一中学校
準優勝	さいたま市立常盤中学校
3位	板橋区立開進第三中学校

参加校

品川区立荏原第四中学校	さいたま市立常盤中学校	習志野市立習志野第一中学校
私立日野学園	さいたま市立大宮東中学校	東海大学付属高輪台高等学校中等部
板橋区立開進第三中学校	私立横浜山手中華学校	

顧問 細田 功



第3回高輪カップ卓球大会が、本校アリーナにおいて7月6日(日)に行われました。昨年は、台風の影響で中止となってしまいましたが、今回は男子12校16チーム、女子8校7チームが参加し、白熱した試合が行われました。男子は、4チームによる予選リーグを行い、その後順位毎によるトーナメント形式の試合が行われました。女子は、7チームによるリーグ戦形式で試合が行われました。今回、本校中等部男子・女子チームが初参加し、男子は予選リーグにおいて2勝1敗と善戦し2位となりましたが、その後のトーナメントで惜しくも横浜山手中華学校に敗れてしまいました。女子は、残念ながら1勝を上げることができませんでしたが、来年の活躍に期待したいと思います。

女子バスケットボールの部

優勝	世田谷区立烏山中学校
準優勝	中央区立銀座中学校
3位	川崎市立平間中学校 大田区立蓮沼中学校

参加校

世田谷区立烏山中学校	杉並区立荻窪中学校	中央区立銀座中学校
中央区立晴海中学校	大田区立東蒲中学校	川崎市立平間中学校
大田区立蓮沼中学校	足立区立栗島中学校	

高校監督 高橋 佑未子

女子バスケットボール部門では、部員の出身チームを中心に参加を呼びかけました。中学生の最後まで諦めずにボールを追いかけるプレーには目を見張るものがあり、本校の生徒たちも大いに刺激を受けました。また、今回初出場した本校中等部部員は、日頃の練習やチームワークの大切さを学ぶことができました。バスケットボールを通して、ゲームに勝つこと以上に、チームメイトとの結束や支えてくれる周りの方々への感謝の気持ちを持つことの重要性を、本大会で学んでくれれば幸いです。

本年度は見事に世田谷区立烏山中学校が2連覇をしました。ご協力いただいた中学校顧問の先生方、温かい応援をしてくださった保護者の方々に感謝をいたします。



男子バスケットボールの部

優勝	板橋区立志村第二中学校
準優勝	品川区立鈴ヶ森中学校
3位	杉並区立松ノ木中学校 大田区立東調布中学校

参加校

大田区立東調布中学校	港区立御成門中学校	品川区立鈴ヶ森中学校
杉並区立松ノ木中学校	板橋区立志村第二中学校	東海大学付属高輪台高等学校中等部
墨田区立文花中学校	足立区立栗島中学校	

中等部監督 長田 一水

第2回高輪カップが本校アリーナにおいて7月20日(日)に行われました。今回は本校中等部を含め、8チームが参加しました。大会は4チームごとリーグ戦を行い、上位2チームが決勝トーナメントに進出するという形式で行われ、その結果、板橋区立志村第二中学校が優勝しました。本校中等部は創部2年目の未熟なチームということもあり、健闘はしたものの入賞を果たすことはできませんでした。次回に期待したいと思います。

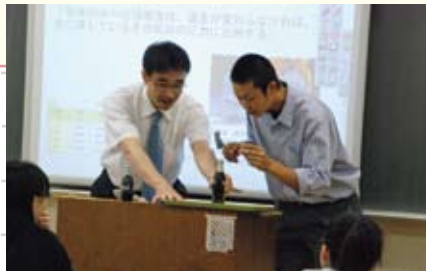
2008年度学校運営方針

5月14日、2008年度第1回一斉公開授業が行われて、269名の保護者の方々をお迎えし、熱心に授業を見学していただきました。特に、中等部の公開授業には128名(74%)の保護者の方々が参加。元気に勉強する中等部の授業を見学していただきました。

保護者の方々には、帰り際授業評価アンケートに答えていただき、たくさんのご意見を頂戴いたしました。今年度から導入していたアクティブボードの使用状況はいかがだったでしょうか。導入後1ヵ月ということで、まだまだアクティブボードの性能を引き出し切れていない場面も多かったと思います。本校の授業改革のためにも、第2回一斉公開授業にも、ぜひお越しいただき、ご意見をお聞かせいただきたいと思ひます。アクティブボードの使用に関しても、スキルアップするよう努力を重ねたいと思ひます。

全授業を公開し、研究授業・公開授業へ積極的に取り組む

- ・年間を通じて、常に授業を公開する。
- ・授業見学がしやすいように、定期的に年2回3日間、一斉公開授業日を設定し実施する。



「生徒による授業評価アンケート」の結果を受けて、授業改善の期間と数値目標を設定し、組織的な(各教科)授業改善によるフィードバック

- ・教員の授業自己点検を行うと同時に、「生徒による授業評価アンケート」の結果から授業改善の期間と数値目標を設定し、組織的(各教科など)な授業改善に努める。
- ・授業改革・授業評価の推進と定着をはかる。
アンケート結果の自己分析⇒改善目標の設定⇒生徒への説明⇒授業改善⇒信頼

第40回 剛健旅行 1,239名参加 完歩率97.8%

7月16日、孺恋村の青々と広がるキャベツ畑が今年も私たちを迎えてくれました。今年はコースが変更になりました。2・3年生の皆さんは、昨年と比べてどうだったでしょうか？ 高校男子は一時的な強い雨に打たれながらも、友達と励まし合いゴールを目指しました。また、今年は第40回ということで剛健旅行Tシャツをつくり、このTシャツを教職員と後援会委員の方々に着て皆さんを出迎えました。

「なぜ歩くのか」このような疑問を抱いた生徒諸君も多いかと思います。その答えは「なぜ人生を生きるのか」という問いに通じるものだと思います。1・2年生は来年度、人生と剛健旅行を重ね合わせて歩いてみてはいかがでしょうか。

結果発表

高校男子トップ10 (39.7km)		高校女子トップ10 (27.0km)		中等部男子トップ10 (15.8km)		中等部女子トップ10 (15.8km)	
1位 2年 7組 細野 洋平 (3時間35分)		1位 2年 2組 都築 幸未 (2時間56分)		1位 1年 B組 藤原 暁 (1時間52分)		1位 2年 B組 田村 祥子 (2時間39分)	
2位 2年 9組 山内 崇意		2位 3年 11組 和田うらら		2位 2年 B組 青木 昂		2位 2年 B組 谷田貝奈央	
3位 2年 8組 笠川 和哉		3位 3年 8組 山岸 千紘		3位 2年 A組 中山 裕之		3位 2年 A組 服部 渚沙	
4位 2年 7組 畑 優大		4位 2年 8組 藍田 織		4位 2年 B組 掛川 将輝		4位 2年 A組 野田 紗貴	
5位 2年 1組 白髭 路人		5位 2年 4組 田中 亜希		5位 2年 A組 高橋 優輔		5位 1年 B組 藤野 莉佳	
6位 3年 10組 間瀬 雅也		6位 1年 5組 山脇ぼえむ		6位 2年 B組 岸浪 駿人		6位 2年 B組 吉沼 侑貴	
7位 1年 2組 山野 功二		7位 1年 7組 馬場 千佳		7位 2年 B組 北郷 翼		7位 2年 A組 田中 千優	
8位 3年 2組 山本 瑛		8位 2年 5組 小嶋 琴末		8位 2年 B組 上村 圭太		8位 2年 B組 大廣 桜子	
9位 2年 7組 馬場 建至		9位 2年 2組 小野 愛菜		9位 2年 B組 加崎 祐也		9位 2年 A組 石川恵里香	
10位 2年 6組 田仲 和真		10位 3年 6組 上山 静香		10位 1年 B組 野田 雄平		10位 2年 A組 川口万寿美	



細野 洋平
2年7組 目黒区立第十中学校出身

僕は今回の剛健旅行で、最初、完走できるかどうか心配でした。なぜかという、去年の暮れ喘息になってしまい部活動が思うようにできず、学校も休みがちになり体調管理が上手くいかずに苦しんだからです。

先生からスタートの合図が出たとき、友達と一緒に走る約束していた僕は、かなり速いペースで林道を走り出しました。とても速いペースだったため途

中、何度もやめたくなくなりました。でも、なんとかそのペースで林道を走りぬけることができました。その日は体調もよく、ゴールまであまりペースを落とさずに走りきることができました。剛健を走る上で一番大事なのは、自分に負けない精神力と最後まであきらめずにやれば必ず結果がでるとことです。ありきたりなフレーズですが今回一番それを感じました。喘息になり一度はあきらめかけた長距離でしたが、僕を支えて下さった友人、先生方、そして両親による大きな勝利を勝ち取ることができました。この経験を、これから勉強や部活に活かしていきたいと思っています。



中等部1学年だより

作文コンテストに挑戦

6月2日、高校3年生にとっては東海大学推薦入試の書類審査の一つとなる東海大学付属推薦小論文試験が行われました。日時を同じくして、中等部でもその予行練習として、作文コンテストが行われました。テーマは中等部2年生と同様「スポーツを通じて私が学んできたこと、これから学びたいこと」。50分間で自分の考えをまとめ、文章にすることは簡単なようで難しいものです。よく構想を練ってから書き始めなければなりません。今回グランプリ、準グランプリに選ばれた2人はよく考えた上で書き始めたようで、よくまとまっていました。皆さんも他の人の文章や読書を通して書き方を学び、自分の文章に活かしましょう。

徳下くん、益子さん受賞おめでとう！

グランプリ



徳下 善大

1年B組 大田区立松仙小学校出身

僕は、硬式テニスをやっています。最初軟式と硬式で迷いましたが硬式を選びました。今の硬式のプロの選手はいっぱいいますが、アフリカの選手はほとんど見ません。その理由は貧困にあえいでいるからです。お金がないと基本のラケットが買えません。なのでテニスができないというわけです。現在男子世界ランク1位のロジャー・フェデラー選手はユニセフで日本の黒柳徹子さんのような役職についています。そして、募金をしたと言います。みなさんは募金をしたことがありますか？僕たちのようにある程度お金を持っている人はいい生活をして、貧困にあえいでいる国の人は貧しい生活をするのではなく、豊かな人たちが貧しい人たちに分けてあげるのが大切なのです。アフリカの人にはサッカー選手が多いと言います。なぜならボールだけできるからです。

そういう人たちが野球などの色々なスポーツができればいいな、と思いました。

準グランプリ



益子 幸穂

1年A組 江戸川区立北小岩小学校出身

私は、今までスポーツは誰かと競うものだと思っていました。短距離走でも、誰かと勝負をして、勝ち・負けが決まって終わるものだと思っていました。

しかし、小学校の時の運動会や、中等部に入ってからやったスポーツ大会で、「協力」するということもスポーツには必要なんだというふうに思いました。リレーは、短距離走とちがって個人の勝負ではなく、チームの勝負だし、綱引きだってみんなで力を合わせて声をかけたりしながらする競技です。1人だけ頑張っても、チームで頑張らないと勝てません。

私は中学生になって部活動を始めました。私はスポーツ系の部活動なので、先輩や先生にアドバイスをしてもらいながら、頑張っていきたいと思います。自分勝手な行動をしないで、「協力」をして、スポーツについてまだ知らないことを学んでいきたいです。

中等部2学年だより

今年度のテーマ名「スポーツ」

昨年度は「友情」をテーマに自らの考えを400字にまとめました。今年度は「スポーツ」。「スポーツを通じて私が学んできたこと、これから学びたいこと」について自分の思いをまとめました。皆さんはスポーツが好きですか、得意ですか。スポーツが大好きという人もいれば、なかにはスポーツは苦手という人もいます。今回グランプリ、準グランプリに選ばれた2人はまさにその対照的な立場から、心に響く文章を書いてくれました。

松尾さん、齋藤君受賞おめでとう！

(なお、松尾さんは昨年度に引き続き2年連続グランプリ受賞です。おめでとう！)

グランプリ



松尾 結

2年B組 大田区立山王小学校出身

私はスポーツがあまり好きではない。つかれるし、個人競技はまだしも団体の場合は失敗したら他の人に迷惑がかかってしまい申し訳ないからである。しかし、体育の時間などに手を抜くのは後味が悪く、一生懸命役割を果たした後はなにかすがすがしいものがあるのは確かであり、またそれを見ていた友人の笑顔を見るとやはり頑張ったよかった、と思えるのである。

先程スポーツが好きではない、と書いた私だが、スポーツしている人を見るのは好きである。汗まみれになって、対戦相手、又は自分に負けないうより高みを目指す人の姿は美しく、見ていると自分も一緒になって運動しているような気分になる。勝った人とは一緒に手を合わせて喜びたいし、負けた人とは共に涙を流したくなるのである。

私がスポーツを通じて学んだことは、自分を応援してくれた人々への感謝、なにかを一生懸命することの美しさではないだろうか。

準グランプリ



齋藤 一将

2年A組 私立関東学院出身

僕が、スポーツから学んだことはいくつもあります。「忍耐」や「勝とうと思う心」などといった精神的な事や、「あいさつ」などの生活面も学んできました。

僕は、小学校4年生の時から家の近くの道場で剣道をやってきました。その練習では、始めてから3年間、ずっと基礎練習をして、剣道の基礎はもちろん生活面の基礎もたくさん学びました。そうしているうちに見えてきたことがあります。それは、「人生」です。つまり、自分はこれまで剣道というスポーツを通じてこれから自分はどう生きればよいか。又、目上の人に対する態度などを学んできたのです。これを学んだことにより、今の中等部で先輩達や先生達と話す時の言葉づかいや、ろうか先生に会った時のあいさつなど困ったことはありませんでした。

僕は、生涯を通して剣道からこの「学び」を受け、もっといろいろなことを学んでいきたいと思っています。

高校1学年だより

学年主任より

高校第1学年主任 米谷 昭人

夏休みはどのようにすごしたでしょうか？ 勉強漬けだった人、部活動漬けだった人、遊びまくっちゃった人、それぞれ高校最初の夏をすごしてきたと思います。「今、やらなければならないこと」を意識して実行できた人は充実した夏休みを過ごせたのではないかと思います。その習慣を皆さんは持っていますか？ 誘惑や楽しいこと、妥協してしまう心で「今、やらなければならない

いこと」を先延ばしにできていませんか？ 勉強や部活動などで、物事を進める上での優先順位をつけて行動できるようにしましょう。

4日には外部実力試験、16日からは前期期末試験があります。夏休みばけをしている暇はないのでしっかり準備をして試験に臨みましょう。中間試験であまり成績がふるわなかった人も挽回可能です。中間試験と同じ失敗をしないようにしましょう！

「今やるべき事を今やる」精神を持って頑張ってください。

はじめてのスポーツ大会

1年3組 学級担任 工藤 優樹

「行事がクラスを作る」私がモットーとしている言葉の1つです。ただ机を並べるだけだったクラスメイトが1つの目標に向かって取り組むことで、次第に団結力が生まれていくのです。6月28日（土）に行われた1年生のスポーツ大会は、高輪台高校に入学して初めてクラスごとに取り組んだ行事でした。勝つことだけが目的ではないけれど、1つの勝利がもたらす喜び、敗北による悔しさが、クラスを1つにまとめていく

れます。今回、特に印象的だったのが、最後の直線リレー。通常のトラックでのリレーとは違って一目で走っている様子が見えるので大いに盛り上がりました。わがクラスは途中まで2位だったのですが、バトン4回も落としてしまって最下位になってしまいました。残念な結果でしたが、とても面白かったです。

(そのぶんソフトボールが優勝してくれました。) 総合優勝は7組！ サッカーで男女とも大活躍しました。次回のスポーツ大会は1月に行われます。どのクラスも今回以上に盛り上がってほしいと思っています。



スポーツ大会(6月28日、本校総合グラウンド)



高校2学年だより

研修旅行

6月26日から7月1日まで研修旅行が行われました。6月号でご紹介しましたが、オーストラリア・ハワイ・沖縄・北海道と大きく分けて4つのコースがあります。3年間で唯一の学年の宿泊行事であるだけに、非常に楽しく過ごしてきました。戦争の歴史や大自然に触れ、平和や環境について考えることもできました。帰国後に研修レポートをまとめることが例年の課題になっています。14ページの写真をご覧ください。

オーストラリア

柴田 麻美

2年4組 大田区立大森第八中学校出身

一日一日がとても楽しくて、時間が足りないくらいでした。オーストラリアは想像していた通り、自然が多く平和な国でした。動物がたくさんいて、日本ではできない体験をすることができました。

特にホームステイ先は3歳、6歳、9歳の子供がいる家庭だったので、一緒に元気よく遊びました。もちろん楽しかったのですが、もっと英語を勉強しなければならぬとも感じました。

また、ホテルでも勉強になることがたくさんありました。私は将来ホテルで働きたいので、今回の研修旅行で学んだことが活かせれば嬉しいです。

思い出がたくさんできて、本当に研修旅行に行って良かったと思いました。



沖縄

森山 莉紗

2年5組 幸手市立西中学校出身

私にとっては初めての沖縄旅行でした。とても海がきれいで夢のような5泊6日でした。一番楽しかったのはマリンスポーツをやったことです。とても陽射しが強く、日焼けをして痛かったけれどこれも一つの思い出です。

研修というだけあり、遊ぶだけではなく沖縄の戦争についても学びました。戦争の生々しさを知りました。平和講話をして下さった島袋さんのお話の中に出てきた「人災」という言葉が胸に強く響きました。「戦争も自殺も殺人も人災であり、やめようと思えばいくらでもやめられる。」…私もそう思いました。戦争や今の日本の危機的状況について私たち1人ひとりが考えていかなければならないと思いました。ひめゆりの塔や資料館で戦争の恐ろしさを知りました。日本軍が起こした残酷な事柄についても知りました。日本軍が全て正しかったとは言い切れないことも分かりました。

現在の日本はとても平和です。しかし、まだ世界各地で戦争や人災で命を落す人が増え続けています。全ての人が「産まれ

てきてよかった」と思えるような世の中になって欲しいし、全ての人が平和に安全に暮らせるような世の中に変えていかなければならないと感じました。



ハワイ

岩村 亜美

2年7組 足立区立東綾瀬中学校出身

真珠湾に向かうバスの中で、バスガイドさんに「真珠湾は観光地ではなく墓地です。写真を撮るときには、平和を意味するピースをしなさいください。」と言われました。確かに戦争が行われたこの場所で軽い気持ちでピースをするのは無神経だと思いました。

アリゾナ記念館に入って、最初にヘッドホンが渡されました。日本語でのアナウンスが聞こえてきました。税金や募金によって運営されているこの記念館に、国を問わずたくさんの人に来てもらい、ここで起こったことを知ってほしいという意図が伝わってきました。

真珠湾攻撃についての映画も見ました。どうして真珠湾を攻撃することになったのか、当時の日本やアメリカの考え、そして攻撃の影響などの内容でした。日本側からの考え方が習っていなかったのが、アメリカの視点を知って、すごく悲しくなりました。

しかし、こんなに辛く悲しい思いをしている人が大勢いるのに、どうしてアメリカはまだ戦争を続けているのでしょうか。日本は負けて、傷つき、後悔して、憲法第九条を制定しました。アメリカはまだ気付いていないのでしょうか。早く世界に平和が訪れればよいと思います。



北海道

三浦 舞子

2年2組 川崎市立今井中学校出身

今回、北海道研修旅行へ行き、北海道の自然・動植物について中心に調べてきましたが、私たちが普段住んでいるところとは全く違った景色が広がり、同じ日本での違いにとても驚きました。東京ではめったに見ることのできない放し飼いの馬や牛、森の中に棲むたくさんの動物を見ることができました。

今回見た森の中にも、もしかしたら人間がイタズラをしたかもしれないという壊された木がありました。もしかしたら、熊かもしれないとも言っていますが、もしこれが人間のやったことなら、とんでもないことだと思います。地球温暖化という人間が責任を取らなくてはならないことがある中で、北海道の自然をイタズラで壊してしまう人がいるというのは許されないことです。みんなで大切な自然を守っていきたく、研修旅行を通して感じる事ができました。



高校3学年だより

進路指導最前線

石井 達人
3学年所属

3学年が始まって、はや3ヵ月が経ってしまいました。その間に、試験は基礎学力定着度試験と前期中間試験がありましたが、6月末の時点ですでに多くの生徒が東海大学の内定を受けることができました。こんなに早く大学の内定が受けられるのも付属ならではのシステムのおかげですが、逆を言えば1,2年の成績がいかに重要であるかを物語ることであります。そして、生徒1人ひとりが積み上げてきた1,2年の成績を元

に担任の先生方はこの時期一番悩み、緊張する時期を迎えているのです。個々の生徒の第一志望を大切にしながらも志望学部 of 各学科の人数枠による競争や、適性審査を課せられている学科などの志望条件等で厳しい判断をしなければならない場合があるからです。少しでもいい条件で進学してもらおうと、進路の書類と生徒の志望調査書とをにらめっこしながら、今日も夜遅くまで担任の机の灯は消えそうもありません。

スポーツ大会 (7月1日、本校総合グラウンドにて)

金 恵潤
3年10組 学級担任

今回(7月1日)行われた総合グラウンドでのスポーツ大会をもって、同じクラスとして3回目のスポーツ大会を迎えました。クラスとしてのチームプレーも深まってきている様に見えました。今年度は部活動としてプレーしている生徒も、その専門競技に出場できるということで、より盛り上がっていたように思います。本校は総合グラウンドが校舎に併設されていないため、日常総合グラウンドで活躍する生徒の姿を見ることができません。それだけに、今回はそのような姿を見

る良い機会になりました。総合グラウンドやアリーナで行事を行うといつも驚くことは、教室にいる時と全く違う雰囲気になる生徒が多いことです。それはプレーする側・応援する側の両方に言えることだと思います。スポーツを始めとする行事によって、クラスが一体となるという現象は大学ではおそらく無いと思います。高校時代の行事などに積極的に参加することは、一生の宝ものになるはずですよ。



今回は優勝を目指すぞ!

SSH活動報告 ～科学体験学習旅行～

7月22日から3泊4日で、1年SSHクラス47名が科学体験学習旅行をしてきました。見学先は静岡県の東海大学開発工学部沼津校舎、愛知県のスターフォレスト御園、生理学研究所・基礎生物研究所・分子科学研究所、トヨタ産業技術記念館、岐阜県の核融合科学研究所、長野県の養命酒駒ヶ根工場です。各施設での講義、実験・実習を通して生徒たちは普段の授業ではできない貴重な体験をすることができました。また、車中や宿泊先でのプレゼンテーションを数多く行うことで、プレゼンテーション能力が飛躍的にアップしました。

3次元CADについて

宮田 隼平

1年9組 世田谷区立喜多見中学校出身

僕は、今回の科学体験学習旅行で最先端の科学を学ぶことができました。なかでも僕は、東海大学工学部感性デザイン学科で学んだ、3次元CADにとっても興味を持ちました。3次元CADとは、コンピュータ内部の仮想3次元空間上に縦・横・奥行のある対象物の立体形状を描くことのできるソフトのことです。すごい点は、デザインや試作をすべてコンピュータの画面上に表すことができるので、スケッチや製図、ねんどを使った模型を作ることが必要なくなったことです。そのほかにもCADのデータを使って自動車を例に挙げると、衝突実験や強度実験などでわざわざ実際に自動車を壊さなくてもシミュレーションすることができます。この実験では、何台もの車を壊すことになりもったいないですが、CADソフトを使えばゴミ1つでないということに感動しました。SSHのこの活動で今までふれたことのなかった先端の技術にふれることが出来てとてもうれしく思います。



持ちやすい歯ブラシをつくらう!

バーチャルリアリティの研修を受けて

秋葉 咲希

1年9組 目黒区立第八中学校出身

私は今回科学体験学習旅行へ行って、普段できない体験が出来ました。私はその中でも、核融合科学研究所でのバーチャルリアリティの研修が一番心に残りました。その研修では、立体視、CGなどを使ったシミュレーションについて教わりました。実際に私たちは講義や研修を受けた核融合科学研究所の建物や、心臓をシミュレーションした映像を見させてもらいました。更に、実際は見ることでできなかったLHDという機械の中の様子をシミュレーション映像で見ることができました。この研修では、立体視の原理を使った眼鏡のような装置を使って映像を見ました。人間の目は左右で見え方が違い、そのおかげで立体に見えるそうです。研究でもシミュレーションを使って、地球の磁場や地球内部の溶解鉄、オーロラ、太陽のコロナ質量放出などを研究しているようです。今回、貴重な体験を沢山する事ができ、とても良い旅行だったと思います。



わからないことは質問して解決

2回行っても飽きない科学体験学習旅行

石井 友基

2年9組 中央区立晴海中学校出身

科学体験学習旅行にTA(ティーチング・アシスタント)として参加して、その中でも一番印象に残ったことは、1年生のプレゼンテーションのレベルが高いということです。3・4人の班ごとに分かれて1人ひとりのプレゼンを班で1つのプレゼンとしてまとめ、発表するということかなり大変な作業を短時間でこなすなど、1年生はほとんどTAのサポートなしで、プレゼンを教えていただいた井上先生絶賛のプレゼンをすることができていました。私たちの代の時と比べてもレベルの高いプレゼンだったのではないかと思います。また、1年9組は雰囲気も良く、去年の私たちよりもみんなが親しんでいるクラスで、たった数ヶ月でそこまで仲良くなれるのかと思えるくらいでした。今回、TAとして参加したことで、人に何かを教えることの難しさや、それを仕事としている先生方の苦勞を知ることができました。また、プレゼンを教えることでさらにプレゼンを学ぶことができました。2回目でもまた来年参加することができればいいなと思えるくらい楽しく充実した4日間を過ごすことができました。



先輩に原稿をチェックしてもらいます

お知らせ

第7回体育祭

9月30日(火)

本校総合グラウンドにて 9:00開会式

- 雨天の場合について
9月30日(火)が雨天の場合は10月8日(水)が体育祭、9月30日(火)は授業日です。
- 実施かどうかの最終的な判断は下記の
本校ホームページで確認しましょう。
<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/hp/keitai.htm>
- 運動靴を忘れずに持参しましょう。



最寄駅:JR高崎線さいたま新都心
 ※さいたま新都心駅から総合グラウンドまでは徒歩14分です。
 (生徒はバスで移動)
 ●品川駅からJR線経由で約45分
 ●泉岳寺駅から都営浅草・JR線経由で約53分
 ●白金高輪駅から東京メトロ南北線経由で約56分

保護者会 9月27日(土)

「家庭通知表」を配布いたします。
 上履きをご持参いただきますようお願いいたします。

行事予定

September 9月

October 10月

- 1日(月) 避難訓練(1限目)、朝礼後短縮授業
- 4日(木) 学園基礎学力総合試験(高3)
外部実力試験(中等部、高1、高2)
- 6日(土) 後援会委員総会
- 9日(火) 中学校巡回
母校訪問(高1)
生徒自宅学習日(高2、高3)
水泳実習(中等部)
- 11日(木) 校医相談日
- 15日(月) 敬老の日
- 16日(火) 前期期末試験(高校、~19日)、金曜日の授業(中等部)
- 17日(水) 期末試験(中等部、~19日)、専門医によるカウンセリング
- 22日(月) 採点日、生徒休業日(高校)
写生大会(中等部、雨天時午前中授業)
- 23日(火) 秋分の日
- 24日(水) 答案返却
- 25日(木) 生徒休業日
- 26日(金) 成績不振者指導
- 27日(土) 保護者会(全学年)
- 29日(月) 授業日
- 30日(火) 第7回体育祭(雨天時授業日)

- 1日(水) 後期始業式、建学祭開会式(7限目)
- 2日(木) 建学祭準備、校医相談日
- 3日(金) 建学祭準備
- 4日(土) 第44回建学祭(~5日)
- 6日(月) 振替休日
- 7日(火) 建学祭閉会式
- 8日(水) 体育祭予備日1(雨天時授業)
- 9日(木) 学年集会(高3)
- 10日(金) 月曜日の授業、保護者面談(高2、~11月22日)
- 11日(土) スポーツ大会(高2、本校アリーナ)
- 12日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 13日(月) 体育の日
- 15日(水) 体育祭予備日2(雨天時授業)
- 17日(金) 教育実習(~11月7日)
- 16日(木) 東海大学進学説明会(高1、1限)
- 18日(土) 英検(中2、高1、高2、高3)※高1は希望者のみ
- 23日(木) 学年集会(中1、高1)
- 25日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 30日(木) 月曜日の授業

研修旅行(高校2年)の様子



編集後記

暑かったこの夏、気温の上昇以上に気になったのが原油価格の高騰だ。航空運賃に上乗せされる「燃油サーチャージ」にならって、トラック輸送費や電気料金などにも原油上昇分が転嫁されるという。石油はいわば産業の血液、物価の上昇をもたらすことは必至である。だが、家計には「原油サーチャージ」の上乗せはない。それにしても、原油上昇分はいったいどのだれに流れ込んでいくのだろうか？(か)